

## 横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 事業所名   | くすのき保育園                        |
| 報告書作成日 | 2007 年 7 月 6 日 (評価に要した期間 4 か月) |
| 評価機関   | 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 横浜生活あんしんセンター |

### 評価方法

|   |  |
|---|--|
| <p>自己評価方法</p> <p>(実施期間: 2007 年 3 月上旬<br/>~ 2007 年 4 月 27 日)</p>         | <p>非常勤職員を含めた全職員が自己評価に取り組み、まず主任が集約して一本化した。その評価票を全体会議に諮り、園長確認のもと最終決定した。</p>  |
| <p>評価調査員による評価方法</p> <p>(実施日: 2007 年 5 月 25 日・29 日)</p>                  | <p>評価調査員 (2 名) による現地視察や書類確認、面接ヒアリング調査 (園長、主任、栄養士) を行った。また、職員 (新人・中堅・非常勤) にも 1 対 1 のヒアリングを行った。</p>                          |
| <p>利用者家族アンケート実施方法</p> <p>(実施期間: 2007 年 3 月初旬<br/>~ 2007 年 3 月 16 日)</p> | <p>全園児 (調査時) 107 名に対する保護者 85 家族 (世帯) を対象とし、事前に園長と評価機関の連名でアンケート依頼文を連絡帳に挟み込み園から手渡し、約 2 週間の回答期間を設け、匿名で直接評価機関に返送してもらった。</p>    |
| <p>利用者本人調査方法</p> <p>(実施日: 2007 年 5 月 16 日)</p>                          | <p>全園児 (調査時) 106 名のうち、予め園側にリストアップを依頼した中から 10 名 (園児の 9.4%) を対象に、評価調査員 2 名が保育観察 (0~4 歳児 4 名) 本人聴き取り調査 (5~6 歳児 6 名) を行った。</p> |

## 評価結果についての講評

### 〔施設の特徴〕

当園は、JR 戸塚駅からバスで 15 分ほど、途中、箱根駅伝で有名な、“不動坂”の交差点を越えた所にあります。周辺は住宅街ですが、園の横には小川が流れ、遊歩道が整備されています。園は、比較的交通量の多い表通りから入った所にあり、車の通行は少なく、周辺にある空き地は、園庭(園の前にも、独立した園庭を確保しています。)以外での、子どもたちの絶好の遊び場になっています。また、すぐ傍の畑では、季節野菜の栽培が行われ、子どもたちへの食育の教材として供されています。

当園は、平成 16 年 4 月に開園し、今年度で 4 年目を迎えた新しい保育園です。新しく広々とした園舎の中は、子どもたちの元気な声で溢れています。近隣には大きな公園もありますが、園舎前(道をはさんだ向かい側)には、小さな公園と見紛うほどの、独立した園庭が設けられ、安全に留意された空間で、子どもたちが仲良く元気に遊んでいる姿を見ることができます。

「健康で明るい子」「思いやりのある心豊かな子」「自主性を持つ子」「協調性と創造力のある子」「感謝の心を持つ子」の 5 つの柱を保育の目標として、全職員がその目標達成のために努力しています。子どもたちの伸び伸びとした姿からは、職員の気持ちが、素直に伝わっている様子が伺えます。園独自の当番制を割り当てられた子どもたちが、一生懸命リーダーシップを発揮している姿に、園長をはじめとする全職員の強い思いを感じることができます。この第三者評価の受審を契機として、園長をはじめとする関係者の意気込みは、新年度の種々の計画に活かされています。

### 〔特に優れていると思われる点〕

#### 食育への取り組み

生涯にわたる健康の基礎づくりは食生活にあるとの認識に立ち、食育活動を大切にしています。保護者へ「食生活アンケート」を実施し、結果をまとめて「朝食をきちんと取り、排便を済ませて登園することで、午前中の子どもの活動はめざましく向上します。また、家族と一緒に朝食を食べることで、子ども達の精神的な安定にもつながります。」など保護者に説明し、効果的な朝食を毎日とする習慣の大切さを促しています。

「食材の生態を知り、食べ物に対する興味を持つ」ことを目標に掲げ、「食育年間計画」を作成しています。その中には、園専用の畑での植え付けや収穫計画、栗ごはん・七草粥などの季節献立計画、梅ジュース作り・箸の持ち方・魚のお話・干椎茸作りなどの食育活動計画・給食だよりの発行計画などが、1 年間にわたり計画されています。

「食力～給食だよ～」を年に 6 回作成し、園の食育活動の情報提供をしています。行事食にまつわる食べ物の説明、子どもたちに人気のメニューのレシピ紹介、旬の食材の案内なども取り上げられています。また、“給食さんのお手伝い”と、子ども達が張り切って絹さやのすじ取りを体験し、給食に出た絹さやを「苦手だけど今日のはおいしい!」と、友達に自慢気に話している様子なども紹介されています。給食の予定献立表は毎月、乳児用と幼児用の 2 種類作成され、乳児用献立には準備期・初期・中期・後期用のメニューが、幼児用献立には食材全てを栄養三要素に分けての紹介が載せられています。

子どもたちが畑で育てた野菜を積極的に献立に取り入れたり、そら豆のさやむき・キャベツちぎり・ほうれん草洗い・お餅つきやクッキー作りなど、子どもたちが自ら参加することにより、食品や給食への関心を育もうとする努力をしています。幼児クラスの子どもたちは、ランチルームで一緒に楽しく給食を取っています。当番の子どもの「いただきます!」の合図で、給食が始まります。「ごちそうさま」で終わると、当番の子どもは食材が描かれたブロックを手に持ち、なぞなぞ形式で「これはなんですか?」と皆に問いかけ、答えにあわせて「びょうきからまもるも

の」「からだをつくるもの」「ちからのもとになるもの」と、それぞれのポケットに分け入れています。食品分類の意味や食べ物の大切さを、楽しみながら育てる工夫が見られます。

#### 環境を活かした多彩な遊びの展開

園舎の周辺には、原っぱや畑が広がり、側面には阿久和川に沿っての遊歩道が整備されています。また、近隣には沢山の特色ある公園が存在し、天気の良い日は積極的に散歩や外遊びを取り入れています。子どもたちは畑で、じゃが芋・さつま芋・トマト・なす・きゅうりなどを育て、その生育と収穫の喜びを味わっています。松尾神社では、裏山登りや木登り、石垣登りなどを楽しみ、岡津消防署の訪問では、本物の消防自動車に乗せて貰ったりしています。原っぱでは草の斜面を滑り台にしたり、鬼ごっこや草むらに隠れるかくれんぼ、虫の観察や花摘みなどで、子どもたちが生き活きと遊んでいる姿が見えます。遊歩道では、幼児クラスの子どもたちが、カードにシールを貼ることを楽しみながらマラソンを行っています。散歩や外遊びを通して、身近な自然や地域と触れ合いながら、積極的に体力作りを実施しています。

園舎前の庭や園庭、ウッドデッキなど施設内にも様々な遊ぶスペースを確保しています。一時保育室には跳び箱・平均台・マットなどがあり、幼児クラスでは週1回全身を使った体操教室が開かれています。幼児クラスと一緒に遊ぶ子育て支援スペースには、牛乳パックで作られたテーブルと椅子が置かれた「応接間」と呼ばれるコーナーがあり、絵本を読んだり、ごっこ遊びが楽しめます。屋上では縄跳びやコマ回しを行うなど、発達や目的に応じて安心して遊べる場所や道具を使い分ける工夫をしています。

#### 自主性と創造性を育くむ取り組み

年長児クラスでは、「園庭で安全に遊ぶためにはどうしたらよいか」を子どもたちが話し合い、「滑り台の逆さ登りはしない」など、幾つかのルールを決め、自分たちが作ったルールを守って遊んでいます。年長児は朝の会や給食の当番を決め、リーダーシップを育むとともに、当番の合図で主体的に行動するなどのルールを身に付けようとしています。給食のご飯は、自分が食べられる量を自分で盛りつけ、食べ終わった食器の片付けは、子どもたち自らが行っています。また、合同散歩の途中、落ちていた空き缶やゴミ拾いをしている年長児を見て、自分もやりたいと年長児に混ざってゴミ拾いをする子どもたちの姿に、日常の保育の中で自主性や社会性が育くまれているのを見ることができます。

畑で育てているさつま芋の葉っぱを観察して写生したり、写生の途中で雷雨となり園舎に戻って雷の絵を描いたり、飼育しているかぶと虫の幼虫を観察して思い思いに絵に描いたり、生物の成長や自然の変化などを、自由に表現する力を大切に育てています。原っぱや散歩の途中で見つけた虫を園に持ち帰り、飼育箱で育て、羽化して飛び立つ蝶を見送り、子どもたちはその美しさや生命力に感動しています。また、遊び道具が何もない原っぱで、子どもたちが思い思いに遊びを考え、飽きずに楽しんでいる雰囲気からは、徐々にではありますが、創造性が育ちつつあるのを感じます。

当園の特色の一つとして、年長児への絵画教室があげられます。専門家の指導のもと、子どもたちは思い思いの表現をキャンパスに描き、その作品はランチルームに飾られ、訪れた人々を迎え入れています。絵画指導は卒園まで続けられ、その集大成として卒園記念の壁画を完成させています。その作品は園庭の外壁を飾り、道行く地元の人たちからも評価を受けていますが、卒園後に園を訪れる子どもたちにとっては、いつまでも心に残る大きな財産となっています。

〔特に工夫や改善などを期待したい点〕

#### 理念・方針・目標のあり方と周知の工夫を

「理念」「方針」「目標」が、入園案内やホームページ等に明記されていますが、必ずしもわかりやすい表現にはなっておらず、利用者にとっては理解を難しくしているように感じます。家族アンケート結果からも、園の目標や方針について認知度が低い結果となっています。本来は、理念に従って方針が策定され、その方針実現のために、目標が設定されるものと思われます。「理念」「方針」「目標」を明確に掲げるならば、それぞれの定義を再考し、園の目指す方向が、確実に分かり易く、利用者や職員に伝わる配慮が必要に思われます。

園の目指すべき方向を明示し、職員や利用者の理解を確実にするためには、その周知の方法や程度にも、再考の余地を感じます。職員には、より充実した内部コミュニケーションを、利用者には懇談会、説明会、個人面談などの更なる有効利用により、積極的に理解を深める取り組みを期待します。

#### 計画に基づいた、より具体的な取り組みを

安定した園運営に対する計画は、園長のヒアリングからは確認できましたが、開園間もないことから、明確な中長期計画としては策定されていませんでした。計画の策定に当たっては、園を取巻く外部環境や現状の保育サービスに関する様々な情報が必要になります。積極的な情報収集により、明確な将来計画が明文化されることを期待します。

将来的な計画には、人材育成の計画も不可欠です。園の将来計画が明示されることにより、それを担う職員に必要な力量が明確にされ、研修計画もより具体的に策定されることになります。職員の立場からは、研修計画の目標・目的が明確にされることにより、自らの目指すべき方向も明らかになり、研修成果もより向上するものと思われます。自らの努力が、園の目標実現のため、いかに貢献できるかの認識が増し、保育士としてのやりがいや満足度を高めることにも、より寄与することと思われます。

力量アップのために努力する職員に、計画通りの力量が身に付き、平素の保育現場の活動に活かされている否かを、明確に評価する必要があります。職員に対する確実な評価・指導は、努力する職員の励みにもなります。4年目のスタートに当たり、新しい方向を確実に目指して動き出している園であるため、今後のより具体的な取り組みを期待します。

#### マニュアルなど文書類の整理を

自己評価の各項目で求められているマニュアル等の文書類は、確かに整備されていました。まずは台本を揃え、それを園に沿った内容に改訂して行く姿勢は、当然あるべきことですが、ややもすると、文書が一人歩きする懸念もあります。本来の業務とは異なる対応を実施し、調査・監査のためだけの書類作りが行われないためにも、園や職員の実態を考慮した、園独自の文書の作成・整備が必要になります。

文書類の作成は、通常は管理職員が中心に行われているようです。作成後、関係職員に周知し、内容の再検討を行う手順は、どこでも実施されていることと思います。しかし、多くのマニュアルは作成時のままで、マニュアルを使っているうちに出てくる現場の声を積極的に汲み取りそれを内容に反映されるまでには至っていないのが実態のようです。それらを可能な限り減らし、通常業務を通して、抵抗なく使用できる文書や記録様式が作成されるよう、作成に当たっての内部コミュニケーションの上手な運用が必要です。開設間もないこの時期だからこそ出来ることであり、実施すべきことと思います。

# 評価機関による評価







# くすのき保育園






3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

## 評価領域


## 利用者本人の尊重

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの自主性」や「創造力を育む」ことを目標とした保育の基本方針は、子ども本人を尊重した内容になっている。その内容は、職員が常に目にする事務所に掲示されており、また、会議等を通し、全職員に周知されている。</li> <li>・保育計画の作成は、各クラスの担当保育士で話し合い、さらにその内容を園長・クラス主任・栄養士による代表者会議に於いて検討され、作成されている。その内容は、園の立地条件や環境を考慮し、川沿いの遊歩道や近隣の公園を利用した散歩、また畑を利用した収穫活動など、園外保育を多く取り入れている。また、保育計画は、利用者とのコミュニケーションから得られた情報を考慮して作成され、年度当初の懇談会で園長が保護者に説明している。改訂をした際は、全体懇談会で説明することになっている。</li> <li>・保育士は、子どもの年齢や発達に応じた言葉がけに心がけており、子どもの納得がいくように順を追って説明することを大切にしている。また子どもの態度や表情を観察し、子どもの意思を積極的に汲み取る努力をしている。例えば、雨続きで久しぶりに晴天になった時など、子どもたちから「外に行きたい」という声があれば、製作活動の予定でも散歩に変更するなど子ども達の意見要望を取り入れている。</li> <li>・子どもの自主性や主体性を育てるために、幼児クラスでは当番活動を行うなど、園独自の計画が盛り込まれた内容となっている。また、生活発表会の曲選びや運動会にどんなお遊戯をやりたいかなど子ども達の意見を聞いて決めている。</li> </ul> |
| <p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年3月に入園説明会を開催し、全体説明会后、各年齢別に担当保育士と保護者及び子どもとの面接を行い、子どもの様子なども観察している。「児童表」に、予防接種記録、病気の記録、健康診断の有無、アレルギーの有無を含め、子どもの成育歴を細かく記入し、家庭での生活状況の把握に努めている。</li> </ul>   |


|   |   |
|---|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時の面接時等においてならし保育の説明を行い、必要に応じてならし保育から始め、無理なく園生活に入っていけるよう個別計画を立てるなどの配慮・対応をしている。0、1歳の新入園児に対しては、乳児クラス主任が総括し、適切な期間（2ヶ月程度）まで主担任を決めている。主担任にはクラスリーダーがあたり、その時期は勤務シフトをはずし、固定で入るように配慮している。</li> <li>・子どもの心理的拠り所として、0歳児ではおしゃぶり、乳幼児ではぬいぐるみなどを、気持ちが落ち着く時期まで持ち込み、心理的安定を図っている。</li> <li>・連絡ノートを利用し、乳児クラスでは毎日、幼児クラスでは必要に応じて記入し、保護者との連携を図っている。また、在園児への配慮としては、やきもちを焼かせないように、パートやフリーの職員を補充して、より目が行き届き個々ときめ細かく関わりを持つようにしている。</li> <li>・子どもの発達状況を考慮して、指導計画の評価・見直しを行い、これを次年度の計画作成に反映している。幼児クラスでは、年4回（4月末、8月末、12月末、2月末）個々の子どもの発達状況を評価し、それぞれの児童表に落とし込み、日常保育に反映させている。指導計画の総括及び見直しは、各クラス主任が担当し、園長、主任が評価する仕組みになっている。また、必要または要望に応じて、保護者との個人面談を行い、その意向を指導計画に反映している。</li> </ul> |
| <p>- 3 快適な施設環境の確保</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の清掃は1日に2回(朝と午睡後)行われ、清潔に保たれている。清掃の記録は、「清掃チェック表」により管理され、各部署に掲示されている。また、乳児の玩具は、毎日消毒し清潔に努めている。通風、換気等が適切に実施され、園内は気になる臭い等は感じられない。また、各部屋には温湿度計が設置され、自然換気、エアコン及び加湿器等により、適切な温度、湿度の管理が行われている。また、必要に応じて、クラス間の仕切り等の利用や保育士どうしの声かけにより、隣のクラスの音楽や保育者の声などが騒音にならないよう、配慮している。</li> </ul>   |


|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沐浴設備、シャワー設備が整っており、いつでも使用出来るようになっている。玄関、中庭、テラスにもシャワーが設置されており、外遊びの後や午睡前など、常に身体の清潔が保てるようになっている。また、沐浴・シャワー等の設備の管理や清掃は「清掃チェック表」等に基づき実施されている。</li> <li>・0歳児等低年齢児クラスでは、フローリングと畳の利用や仕切りなどで、目的別に過ごせる空間を確保している。幼児クラスでは、給食やおやつの時間はランチルームを使用しており、食べる空間の確保ができています。</li> <li>・朝や夕方の時間外や延長保育、土曜保育の時などに合同保育を行っているが、幼児クラス前には天井が吹き抜けとなっている「子育て支援スペース」を異年齢交流の場として活用している。</li> </ul>  |
| <p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児には、保育内容や環境構成、保育士の配慮や援助などが記載された個別の指導計画を作成しており、毎日の様子も記録されている。また、幼児クラスにおいても、月案の中に個人配慮を記載する欄を設け、個々の状況に応じた計画を立て、対応している。個別の目標等は、行事や期毎に子どもの発達状況を考慮し、必要に応じて目標の変更等を行っている。また、計画の重要部分の作成や見直しに関しては、保護者との個人面談により、説明を行っている。</li> <li>・入園時に家庭の個別の状況や要望等を保護者に児童表へ記入してもらい、その内容はいつでも全職員が見ることができるようになっている。また、ケガや発熱など、日々の個別の子どもの申し送りを職員室にある伝達ノートで行っているが、ノートは全職員が必ず目を通すことになっている。また、重要な申し送り事項は、個人記録として児童表に記録され、進級時等に伝達されている。アレルギーや熱性けいれんなど、特に配慮が必要な子どもの情報は職員会議で状況や対処法などの説明を行い全職員に周知を図り、またいつでも確認できるよう事務室内に掲示している。</li> </ul> |
| <p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮を要する子どもに関しては、毎週行われているクラス代表者会議において話し合わせ、経過や対応についての記録が残されている。また、その記録は、事務室において開示され、閲覧のチェック表により周知の管理が行われている。</li> <li>・障害のある子どもの対応は障害児補助の保育士が担当し、個別の指導計画を立てることになっている。戸塚地域療育センター等からの情報を中心として、全職員で障害児保育に関する話し合いが行われ、共通のテーマとして取り組む体制になっている。</li> </ul>   |





|   |  |
|---|--|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー疾患のある子どもは、保護者から事前に医師の診断書を提出してもらい、保護者との話し合いのもと除去食や代替食を提供している。卵除去の場合、例えば卵焼きの替わりには、カボチャパウダーと小麦粉でお好み焼き風にするなど、素材の工夫等により、他の子どもたちとの相違に配慮している。配善の際は、一目で分かる名前のクリップを付け、間違いのないように留意している。また、栄養士はもちろんのこと、全職員に対してアレルギー疾患に関する情報が随時伝えられ、職員会議等を通して周知されている。</li> <li>・外国籍や帰国子女の子どもに対しては、文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。日頃から保護者と密に連絡を取り合い、園での生活を詳しく説明している。子どもたちが不安にならないように、言葉、国などについて、世界地図等を用いて国の場所を教えたり、「ゆっくりやさしく話してね」と声かけするなど、クラス子ども達に分かりやすく伝え、子ども同士が接しやすく出来るような環境作りに心掛けている。また、スムーズな会話をとることが困難な保護者への対応については、伝達のポイントをまとめた手順（マニュアル）をもとに対応している。</li> </ul> |
| <p>- 6 苦情解決体制</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の掲示板に苦情責任者までの園内の流れや職員の対応ポイントの詳細等を記したフローが掲示され、第三者委員の氏名と連絡先も明記されている。また、苦情に対する対応状況を確認するチェック表が作成され、全職員に周知されている。</li> <li>・玄関の見易いところには意見箱が設置されており、保護者の要望や苦情を受け入れられるようになっている。また、懇談会や個人面談等を通し、保護者の意見や要望を直接聴く機会も設けている。さらに、権利擁護機関として「横浜市福祉調整委員会」等の苦情解決窓口を、園内の掲示板で紹介している。</li> <li>・解決困難な場合には、「横浜市福祉調整委員会」等の外部の権利擁護機関との連携が取れるようになっている。</li> <li>・苦情、トラブルなどは、職員会議等で話し合い、同じ事を繰り返さないよう確認し合っている。開園して間もないため、現状ではデータの収集が主になっているが、内容を分析し、解決に向けて取り組む体制になっている。</li> </ul>   |



| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p>- 1 保育内容【遊び】</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の道具箱に入っている粘土やクレヨン、自由画帳などは自由に取り出して遊べるようになっている。1 歳児クラスには、ヒラヒラと動きのある手づくりの飾りが吊り下げられ、2 歳児の部屋にはおもまごとコーナー、3・4・5 歳児が一緒に遊ぶ広い子育て支援スペースには、牛乳パックで作ったテーブルやベンチが置かれた「お部屋コーナー」があり、ぬいぐるみや大きなブロック、プラスチック線路、電車などを使って異年齢の子ども達が遊ぶことができるなど、年齢に応じて子どもが主体的に活動できる環境になっている。</li> <li>・調査時、園舎の通り向かいにある原っぱでの遊びでは、花摘み、虫探し、石拾いなど一人で遊ぶ子ども、鬼ごっこやかくれんぼ、草の斜面滑りなど仲間と夢中になって遊ぶ子どもの姿が見られた。保育士は一人ひとりを見守りながらトラブルや危険を回避させる配慮をしながら子ども達の遊びに加わっている。5 歳児クラスでは、園庭で安全に遊ぶためにはどうしたらよいかを話し合い「滑り台の逆さ登りはしない」などのルールを取り決めて遊んでいる。</li> <li>・近くに園用の畑があり、子ども達はプチトマト・きゅうり・なす・じゃが芋・さつま芋・ラデッシュなど季節の野菜を植え付け育て成長や収穫の喜び、季節の変化を体得できる機会を設けている。カブトムシの幼虫の成長の様子を観察し、思い思い絵に描いたり、飼育から得られた命の大切さを体験するなど保育活動に取り入れている。散歩にはビニール袋を持参して空き缶やゴミを拾い集めて持ち帰り、環境の大切さや社会性を育んでいる。</li> <li>・各クラスの部屋にはそれぞれの発達に合ったテーマを設定し、のびのびと自由に描かれた作品が壁に飾られている。年長児には月に 2 回専門家が指導する絵画教室が開かれている。</li> <li>・合同散歩やお誕生日会などの行事、朝・夕の自由遊び、土曜保育では合同保育を設定し積極的に交流の場を設けて子ども同士の関わりが持てるようにしている。また、幼児クラスはランチルームでの給食や子育て支援コーナーでの遊びの場を共有しており日常的に交流が行われている。</li> </ul> |

|   |   |
|---|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天気の良い日には積極的に外遊びを取り入れ、歩くことを大切に遠い公園まで行ったり、松尾神社では裏山登りや木登りをプログラムに取り入れている。発達に応じて跳び箱やマットを使った体操を取り入れて運動能力を高めている。幼児クラスでは園舎横の遊歩道で、マラソンカードにシールを貼ることで子どもの意識を高めながらマラソンを行い、楽しみながら体力づくりを行っている。</li> </ul>  |
| <p>- 1 保育内容【生活】</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養士が毎日子ども達の喫食状況を見回りながら、旬の素材や行事食の由来を説明したり、子ども達が育て収穫した野菜が給食に入っていることなどを伝え、嫌いな食べ物にも関心が持てるように配慮している。そら豆のさやむき、とうもろこしの皮むき、キャベツちぎり、クッキー作り、ほうれん草洗い、絹さやすじ取りなど、年齢に応じて調理に参加する機会を設けて調理や食事に関心を抱くよう工夫している。幼児クラスではお当番の「いただきます」「ごちそうさま」のかけ声で一斉に挨拶を済ませるなど食文化を育んでいる。</li> <li>・ 筍ご飯・枝豆のおやつ・栗ご飯など季節の献立、七夕メニュー・お月見団子・クリスマスメニュー・七草粥など文化や行事に合わせた献立を取り入れている。誕生日会にはバイキング方式を取り入れ自分が食べられる量を考えて盛りつけたり、型抜きごはんやハンバーグに旗を立てたり、子どもが喜びそうな盛りつけを工夫している。安全性を考慮して陶器と木製の食器を使用している。</li> <li>・ 毎週の代表者会議でメニューに関して各クラスの主任保育士が現場での意見や要望を出し、栄養士と共に食材の食べやすい形状や固さ、味つけや安全性、残量などを検討して翌月のメニューに反映させている。毎年3月には卒園児に食べたい料理を絵に描いてもらうアンケートを行い、人気の料理をリクエスト献立として提供している。</li> <li>・ 家庭に於ける食生活の実態を把握するために保護者に「食生活アンケート」を実施し結果をまとめ、効果的な朝食を毎日摂る習慣の大切さを保護者に促している。毎月の献立に加え「給食だより」を年6回発行し保護者に配布して園の食育活動の情報提供をしている。0～2歳児の保育参観では、試食と共に保護者にアンケートを行い献立作成の参考にしている。</li> </ul> |

|   |  |
|---|--|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーテンを閉めて光を調節し静かな音楽をかけて、安心して眠れるような環境作りを行っている。乳児には子守歌やとんとん、おんぶをして眠りを促し、仰向けに寝かせ見守っている。幼児は自分でお気に入りの絵本を見たり保育士が紙芝居や絵本を読み聞かせするなど、落ち着いて入眠できるよう配慮している。</li> <li>・「排泄について個々のタイミングを知り、一人ひとりに合わせた言葉をかけて援助する。」との指導計画にあるように、保育士はトイレに付き添い無理強いすることなく、子どもの気持ちを配慮したうえで便座に座らせている。排便状況やおむつ外しの時期などについては連絡帳や口頭で保護者と連絡を取り合っている。</li> </ul>  |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔健康管理〕</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱・下痢・嘔吐・痙攣・SIDS・溺水の際などの対処法に関する病気対応マニュアル、怪我や事故予防のマニュアルに基づき子どもの健康管理がなされている。個々の児童表には既往歴や体質、健康診断、予防接種状況、家庭環境などが記載され関係職員に周知されている。児童表は各クラスの机の引き出しに保管し部屋は施錠管理している。子どもの健康管理については日頃より連絡帳や口頭で保護者と情報交換するなど連携を図っている。</li> <li>・幼児クラスでは、給食後の歯磨き、おやつ後の口のすすぎを行い、週に1回歯ブラシ指導を行っている。乳児クラスは食後口をゆすぐ指導をしている。歯ブラシは殺菌庫に収納して管理している。</li> <li>・学校伝染病に定められている感染症病名・症状・感染経路・登園禁止などの記載がある一覧表と予防対策や対応手順などが補足された感染症マニュアルがあり、完治証明書を添えて入園時に保護者に配布している。マニュアルは事務所内に掲示されている他、各クラスに置いてある。園内で感染症が発症した場合は速やかに掲示を出して保護者へ情報提供している。</li> </ul> |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔衛生管理〕</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒の適用例や薬剤・手順や対応、衛生的な砂場の管理法などが記載された衛生管理マニュアルがある。マニュアルは定期的に、また必要に応じて代表者会議にて見直す仕組みになっている。各部屋やトイレの清掃は業務に組み込まれ毎日2回清掃が行われ、清掃に従事した者がその都度、清掃チェック表にチェックを入れて確認管理している。</li> </ul>   |

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔安全管理〕




- ・「火災時の対応マニュアル」「地震・災害対策マニュアル」「園内保育中の地震発生時における対応マニュアル」「不審者対応マニュアル」「園児安全についてのマニュアル」など様々な状況を想定した安全管理マニュアルが整備され、職員に周知されている。火災、地震を想定して交互に毎月1回避難訓練を行っている。2日間にわたる乳幼児救命救急法の研修に毎年職員が順番で参加している。園児誘導、通報班、非常搬出、初期消火が図式化された緊急避難時の役割分担表、警察・消防への電話手順が事務所に掲示してある。
- ・子どもの怪我については事務室に掲示してある「病気・ケガで病院へ行く目安」と「ケガ発生の場合」マニュアルの対応手順に従って対応し、保護者に連絡している。事故処理簿に発生状況・処置対応、原因・防止策を検討記録し、内容は代表者会議で報告され、議事録により全職員に周知徹底している。
- ・不審者への対応や事件後の園児・保護者への心のケアまでを含んだ「不審者対応マニュアル」がある。不審者が現れた場合、職員のみが解る暗号で放送指示する仕組みが全職員に周知されている。防犯カメラのモニター画面に玄関と園庭の様子が交互に写し出されている。事務所の緊急通報用ボタンを押すと警備会社と警察が5分程度で到着する仕組みになっている。近隣に不審者が出た場合にはFAXですぐに情報が届く「上矢部小学校区緊急ネットワーク」が出来ている。

- 3 人権の尊重




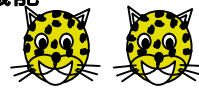
- ・マニュアルに「子どもは呼び捨てにしたりニックネームで呼んだりしない。子どもの存在を否定する言葉は絶対に言わない。子どもは絶対に叩いてはいけません」と明記され、全職員が子どもの人格を尊重する意識を持って保育に従事するよう、職員会議でも確認しあっている。
- ・ウッドデッキや一時保育室、ランチルームなどプライバシーを保ちながら、必要に応じて子どもと話をする場所が確保されている。仲間から離れて一人になりたい時などは各部屋から出入りできるベランダや、廊下端の窓から外の景色を眺めたり、ランチルームやその先の廊下に置かれたベンチを活用することができる。
- ・横浜市から情報提供された個人情報取扱に関する指針を全職員に配布して周知している。保育士資質向上マニュアルの基本姿勢の中にも守秘義務が明記され周知されている。実習生やボランティア受け入れの際はオリエンテーション時に守秘義務について説明している。児童表など個人情報に関する記録は各クラスの机の引き出しに保管し、部屋を施錠管理している。

|   |  |
|---|--|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待予防のための早期発見ガイドブックがあり職員に周知している。虐待・いじめ・誘拐から自分の身を守るための「子どもの安全を守るためのプログラム」(講座)を開催し、職員・保護者・5歳児が参加している。虐待が疑われたケースでは、戸塚区福祉保健センターや児童相談所と連携して対応しており、関係機関との連携体制が整っている。</li> <li>・ジェンダーフリーに関し整列や順番を男女別に行っていることを含め代表者会議で検討した結果、職員の意識の中には性的役割分担を固定的に捉えたり、性的差別の意識は全く無いことを確認し、これまで子ども達が身につけたルールを変更することへの混乱も考慮して、整列や順番はこれまで通りを行うことを決めた。道具箱、帽子などの持ち物は性別に区別することなく男児・女児が同じ物を使用している。遊びや行事での役割は性別による区別はしていない。</li> </ul>   |
| <p>- 4 保護者との交流・連携</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児には3月の新入園児説明会にて、在園児には4月の保護者会で全体会を行い保育の基本方針や保育計画についての説明をし、意見交換をしている。事務所に『意見箱』を設置して保護者の意見や要望を募ったり、生活発表会や親子遠足の後では保護者にアンケートを行い、取り組みへの感想を書いて貰っている。入園の手引きやホームページには保育の方針が明記され、保護者に園の保育方針や目的を理解して貰えるように毎月「園だより」、年6回「給食だより」を発行している。</li> <li>・毎日、掲示板にクラス毎の設定保育の内容や写真を貼り、保護者に情報提供している。必要に応じて連絡帳への記載や、送迎時に直接口頭で保護者に伝えている。毎年4月に保護者懇談会、6月に個人面談を実施してクラスの保育内容や目標、指導計画などを説明し保護者と意見交換をしている。保護者から希望があれば随時個人面談の機会を設けている。</li> <li>・保護者からの相談は、個人のプライバシーが守られるよう事務所奥の園長室で行い、クラス担任、主任が対応し、必要に応じて園長が助言している。相談内容によっては1回で終わりにせず、フォローを続けるようにしている。</li> <li>・一年間の行事予定表を作成して年度初めに保護者に配布している。乳児クラスでは2週間、2歳児は1ヶ月間の保育参観期間を設け、幼児クラスでは年2回の保育参観日を決めている。送迎時にいつでも子どもの様子を観ることができる。親子遠足や運動会などで保護者が参加する機会を設けている。</li> </ul> |





|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会はないが、保護者とは常にコミュニケーションに努め、また親子遠足や運動会などの行事開催については保護者と協力して取り組んでいる。保護者から要望があれば自主的な活動の場としてのスペースの提供や、職員が活動に参加することは可能である。保護者会などの組織が結成された場合には活動への支援や意見交換を受け入れる体制は出来ている。</li> </ul> |
|--|--|

## 評価領域 地域支援機能

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放、一時保育、地域の子どもとの交流保育、世代間交流、育児支援講座などの交流の中から園に対する要望を把握する仕組みができています。また、それらの交流の中で随時育児相談を受けています。幼稚園・保育園・小学校教育交流事業に積極的に参加して、地域ニーズについて把握・検討する機会を設けている。</li> <li>・子育て支援サービスとして毎週木曜日に園庭開放、週2回一時保育を実施し、それらの事業を通して得た地域の子育て支援に関する情報は、代表者会議で検討され職員に周知されている。</li> <li>・地域の親子には生活発表会のリハーサル、プール遊びや運動会に参加して貰い交流している。近隣の高齢者施設を訪問して歌や踊りを披露したり、運動会にお年寄りを招待するなどの交流を図っている。また地域住民に向けて、専門家による「幼児の絵画指導について」の講座を開催している。</li> </ul> |
| <p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを作成して保育目標や保育方針、保育内容など広く情報提供している。園庭開放や一時保育事業を通し、随時育児相談には応じているものの、定例日は設けていない。今後は、「育児相談日」を設け地域住民との交流、支援を更に深めていくよう準備、計画を行っている。地域住民が参加交流できる行事などの案内は、町内会掲示板への掲示をお願いして情報提供に努めている。</li> <li>・民間相談機関（子どもの人権、子ども相談、ひきこもり相談）行政の相談機関（子ども110番、神奈川県警察少年相談保護センター）女性への暴力相談など相談内容別に示した相談機関一覧表が事務所に掲示しており、職員は必要に応じて使用することができる。園長、主任が関係機関との連絡窓口となり、共通認識を持って連携をとりながら行っている。</li> </ul>                                    |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて戸塚区福祉保健センターや児童相談所に相談して対応したり、戸塚地域療育センターと連携をとりながら卒園に繋げたケースがある。幼稚園・保育園・小学校教育交流事業に積極的に参加するなど、日常的に関係機関との連携が図られている。</li> </ul> |
|--|--|

## 評価領域 開かれた運営

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会では、地域住民及び卒園児の参加する種目をプログラムに取り入れ交流を図っている。地元の上矢部小学校とは、園児の訪問や運動会への参加等を通し、積極的な交流を行っている。卒園生の約3割は、同小学校へ通っている。また、ボランティアグループの受入れにも、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・子どもたちの散歩コースは地域住民の散歩コースにもなっており、挨拶を交わし合う等、積極的に交流できる場となっている。また、開園後、まだ日が浅いため事例は無いが、要求に応えられる範囲で、積極的に施設や備品の貸し出しの対応をして行く姿勢である。現状でも、園庭開放には積極的に対応し、地元親子の利用が行われている。地域行事の際は、園のトイレを提供している。</li> <li>・散歩、遠足時を利用して、近隣の公園や地域ケアプラザ、図書館等を、積極的に利用している。近隣の障害者地域作業所で販売されているパンは、よく購入している。幼稚園・保育園・小学校教育交流事業に参加し、近隣の幼稚園、保育園及び小学校との交流を図っている。園の運動会の際は、上矢部小学校から備品を借りるなどしている。また、小学校の運動会に招待されたり、町内会の行事に参加している。</li> </ul> |
| <p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育、延長保育の利用時間及び料金については、パンフレットを作り、必要があれば情報提供している。また、ホームページを開設しており、園情報の提供を行っている。将来の利用者に園情報を提供するため、地域のNPO団体が発行する子育て情報誌、市のホームページ等により情報提供も行っている。</li> <li>・「入園の手引き」を常時備え、希望者には配布し園の基本方針や利用条件、サービス内容など案内出来るようにしている。見学者には、電話で予約をして貰い常時対応している。園のホームページや行政の広報を利用し、希望者の見学の案内をしている。また、見学は、保育に支障をきたさないように留意して、曜日や時間は希望者の都合に合わせ対応している。</li> </ul>   |






- 3 ボランティア・実習の受け入れ




- ・「ボランティア受け入れマニュアル」を作成し、受け入れ手順に従って、基本的考え方や方針が理解されるよう説明されている。中学生の職業体験学習の一貫としても、ボランティアを受け入れている。受け入れは手順に従い、担当者を決め、「ボランティアカード」として受け入れ記録を残す仕組みが作られている。
- ・ボランティア参加者から感想や意見を聴いているが、園運営に反映させる仕組みまでには至っていない。
- ・「実習生受け入れマニュアル」が作成され、受け入れ手順に従って、基本的考え方や方針が理解されるよう説明されている。職員には職員会議等の場で、保護者には掲示により周知している。また、担当保育士が決められ、毎日の活動の記録が、実習記録として残されている。受け入れ手順に従って、様々な子ども・クラスを経験させるべく、それぞれの年齢・目的に応じた内容を理解できるよう、また実習生の目的に合った実習プログラムが作成され、効果的な実習に努めている。また、毎日、担当保育士と実習生は実習記録等を基に反省会を行い、実習生にとって充実した実習となるように心掛けている。



評価領域 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）  |
|--|--|
| <p>- 1 職員の人材育成</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児クラスには、子育て経験豊かな職員を配置し、保護者に安心して預けて貰えるよう人材構成には配慮している。「平成19年度研修計画」が作成され、園の理念・方針をふまえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。しかし、個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、達成度を評価する仕組みまでには至っていない。</li> <li>・研修への参加には職員の意向を尊重しているが、今年度からは全職員を対象により計画的に対処していく意向である。また、研修の成果は、全職員で共有するため、参加者のレポートの閲覧を管理するなど、職場で活かす工夫が行われている。</li> <li>・研修計画は策定されているが、研修の成果を評価して、研修内容を常に見直す仕組みには至っていない。</li> </ul> |

|   |  |
|---|--|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなど、その配置を考慮して勤務表を作成している。各クラス主任が指導を担当し、職員間のコミュニケーションが図られている。また、「非常勤マニュアル」が策定され、非常勤職員にも、「法人道友会の職員としての指導を受ける。」とし、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。</li> </ul>  |
| <p>- 2 職員の技術の向上</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「代表者会議」や「全体会議」において、サービスの見直しを行い、職員個々のスキルの問題として自己評価するとともに、日頃の保育の実践に活かしている。「代表者会議」や「全体会議」においては、工夫・改善した良いサービス事例をもとにした話題も提供され、一層のサービス向上を目指している。</li> <li>・絵画指導や他園の園長からの助言等、積極的に外部からの指導を受ける仕組みがあり、実施されている。他園の園長とは、怪我の対応や危機管理についての意見交換や指導をお互い受けることがある。</li> </ul> |
| <p>- 3 職員のモチベーションの維持</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験、能力や習熟度に応じて、「勤務表」や「行事担当表」等が作成され、役割分担が明確にされている。また、利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員には可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。</li> <li>・職員の希望や提案には、いつでも対応できるようにはなっているが、明確な仕組み(アンケートや個人面談)としては、確立されていない。</li> </ul>   |

## 評価領域 経営管理

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p>- 1 経営における社会的責任</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国保育士倫理綱領」を各クラスに掲示し全職員に周知され、専門職としての責務を日頃より認識して保育に関わるようにしている。</li> <li>・園の経営や運営に関する事項は、理事会で検討されている。しかし、理事会で検討された内容は積極的に全職員に報告、説明するまでには至っていない。</li> <li>・裏紙を職員のメモ用紙に利用したり、時間外や延長保育時のお絵描きなどに利用するなど、ゴミの減量化やリサイクルのための取り組みは、毎日の保育に取り入れ実践している。全職員が使用していない部屋や廊下は、必ず電気を消すなど、省エネルギーに関する意識を持ち取り組んでいる。また、園庭の植物栽培等を通し、積極的に緑化の推進を行っている。</li> </ul> |

|   |  |
|---|--|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園のホームページに記載されている方針の中には、「環境」の2文字は見えるが、パンフレット等には明記がなく、環境配慮の考え方が施設の方針や目標の中に明文化されるまでには至っていない。しかし、環境整備に関する園の取り組みは、実際の子どもたちの平素の姿に見ることができる。例えば、散歩時に公園にスーパー袋を持参し、子どもたちが遊びながらゴミ拾いをするなど、ごく自然な雰囲気で行われ、環境整備についての意識を培うよう配慮している。</li> </ul>  |
| <p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園全体の理念を保育目標として5つ明文化し、事務所に掲示している。またその理念を達成するために各年齢別の目標を職員で定め、それに向かって保育を実践している。</li> <li>・理念や方針は、必要に応じて会議等で説明されているが、全職員が理解できているか園長や主任が定期的に確認するまでには至っていない。</li> <li>・説明会や懇談会、個人面談等を通し、保護者とは継続的に意見交換を実施し、園の意思決定を伝える仕組みができている。また、変更にあたっては、必要に応じて、その変更の内容を説明することになっている。また、内部コミュニケーションとしての「代表者会議」には、保育部門のみでなく、給食部門の職員も参加し、共通の話題として、組織をあげて取り組んでいる。</li> <li>・「平成 19 年度研修計画」として、スーパーバイズのできる主任クラスを育成するプログラム(カウンセリング手法等)が策定されている。</li> <li>・各クラス主任は、月1回の月案会議を通して、前月の反省を基にそれぞれの業務がうまく機能しているかどうか確認し、個々の職員の能力や経験にあわせ、的確な助言や指導を行っている。また、主任は、個々の職員が良好な状態で仕事に取り組めるよう、勤務体制の考慮など、具体的な配慮を行っている。</li> </ul> |
| <p>- 3 効率的な運営</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「園長会」や民生委員としての活動等を通し、園長は積極的に情報収集を行い、事業運営に活かす努力をしている。</li> <li>・毎週木曜日に園長、主任、各クラス主任及び栄養士からなる「代表者会議」を行い、重要な情報の共有を行っている。いろいろな情報や問題点は会議録に残され、全職員が見られるように提示してある。今後は、「業務改善提案書」などにより、現場の職員からの課題を収集し、業務改善への取り組みを積極的に行って行く姿勢である。</li> </ul>  |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長からは、次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討し、今後の目指すべき方向等の考えは伺えるが、開園間もない園であり、それらを具体的な中長期計画として策定することは行われていない。</li> <li>・次代の施設運営に備え、幹部職員が計画的に後継者を育成していくことを念頭に研修計画等が作成されている。また、園長自らが、さまざまな研修会、勉強会に参加し、園運営に関する情報収集に力を入れている。さらに、税理士等からの有益な意見、情報も積極的に取り入れている。</li> </ul> |
|--|--|

# 家族アンケート取りまとめシート(くすのき保育園)

## 結果の特徴

### 【調査対象】

くすのき保育園の全利用（園児）107 名に対する保護者 85 家族にアンケートを実施した。

### 【調査方法】

まず、事前にくすのき保育園と評価機関の連名のアンケート依頼文を連絡帳に挟み込んでもらい、その2～3 日後にアンケートを依頼文と同じ方法で手渡してもらった。アンケートは約2 週間の回答期間（平成 19 年 3 月 2 日～3 月 16 日）を設け、直接評価機関に返送してもらった。

### 【回答があった利用者及び回答者の概要】

利用者総数 / 107 名  
 調査対象総数 / 85 家族・保護者  
 有効回答数 / 38 通  
 保護者(世帯)総数に対する回答者割合（％） / 44.7％

### 【回答があった利用者の内訳】

| 回答者の<br>クラス | 0 歳児<br>クラス | 1 歳児<br>クラス | 2 歳児<br>クラス | 3 歳児<br>クラス | 4 歳児<br>クラス | 5 歳児<br>クラス | 無回答  |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|
|             | 18.4%       | 13.2%       | 13.2%       | 28.9%       | 13.2%       | 13.2 %      | 0.0% |

（％は小数第 1 位まで表示し、合計の小数第 1 位を四捨五入すると 100％になる。）

### 【利用者家族アンケート全体のコメント】

「総合の満足度」では、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせたプラスの回答が 94.7％になり、個別の意見や要望はあっても全体として満足度が高いことがうかがわれた。

項目別では遊びについての項目では「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」で積極的な満足である「満足」のみで 65.8％、「どちらかといえば満足」も合わせたプラスの回答が 97.4％となった他、「園の遊びをお子さんが楽しんでいるか」（「満足」のみ 60.5％、「満足」＋「どちらかといえば満足」97.3％）「遊びを通じた友だちや保育士との関わり」（60.5％、94.7％）となり、恵まれた環境を利用した散歩など積極的な園外活動や畑活動などが好評であることがうかがわれた。

職員対応についてたずねた「お子さんが大切にされているか」（60.5％、92.1％）や「保育園生活を楽しんでいるか」（65.8％、92.1％）でもプラスの回答が 90％を超え、個別の記載でも「先生たちの一所懸命な姿勢が良い」「他クラスの先生も子どもの名前を覚えて、気にかけてくれる」など満足の声が聞かれた。

給食についての 2 項目でも「給食メニューの充実」（65.8％、94.7％）「給食を楽しんでいるか」（68.4％、100％）となり、満足度の高い項目となった。「食生活アンケート」の実施や年齢に応じた調理への参加など食へ興味や関心を持たせるためのさまざまな取り組みが保護者へ理解されている事がうかがわれた。

一方で入園時の状況についての項目では「入園前の見学や説明」「入園後の食の違いも含めた、費用やきまりの説明」「園の目標や方針についての説明」などで「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた回答が 20～30％となり、入園時の説明に対しては満足度がやや低い結果となった。また、「園の目標や方針について」は入園した現在も「よく知っている」「まあ知っている」を合わせた回答は 42.1％に留まり、「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせた回答が 36.8％となり、認知度がやや低い結果となった。

「保護者懇談会など話し合いの機会」や「送り迎えの際のお子さんの様子の説明」「保育中のケガに関する説明」などの項目でも「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた回答が 20％を超え、保護者がさらなる説明や話し合いの機会を求めている様子が感じられた。

## 調査結果

### 保育園の基本理念や基本方針について

(%は小数第1位までの表示とし、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になる)

| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。 | よく知っている | まあ知っている | どちらともいえない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答  |
|----------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|------|
| (人)                        | 2       | 14      | 8         | 11      | 3        | 0    |
| (%)                        | 5.3%    | 36.8%   | 21.1%     | 28.9%   | 7.9%     | 0.0% |



| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。 | 共感できる | まあ共感できる | どちらともいえない | あまり共感できない | 共感できない | 無回答  |
|----------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|------|
|                                  | 11    | 4       | 1         | 0         | 0      | 0    |
|                                  | 68.8% | 25.0%   | 6.3%      | 0.0%      | 0.0%   | 0.0% |

### 保育園のサービス内容について

#### 問2 入園する時の状況について

|                           | 満足  | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他   | 無回答  |
|---------------------------|---|------------|------------|------|-------|------|
| 見学の受け入れについては              | 11  | 13         | 1          | 1    | 12    | 0    |
|                           | 28.9%   | 34.2%      | 2.6%       | 2.6% | 31.6% | 0.0% |
|                           | その他：・開園と同時に入園したのでできなかった(5件)<br>・見学はしなかった(5件)<br>・申し込まなかった(2件)<br>・電話での問い合わせの対応を親切にして欲しかった |            |            |      |       |      |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 9   | 16         | 7          | 2    | 3     | 1    |
|                           | 23.7%   | 42.1%      | 18.4%      | 5.3% | 7.9%  | 2.6% |
|                           | その他：・新設園なので情報がなかった<br>・途中入園で直接面接を受けた  |            |            |      |       |      |

|  |   |       |       |       |       |      |
|--|---|-------|-------|-------|-------|------|
| 入園時の面接については                                  | 11  | 17    | 1     | 2     | 6     | 1    |
|  | 28.9%   | 44.7% | 2.6%  | 5.3%  | 15.8% | 2.6% |
|  | その他：・面接はなかったと思う(2件)<br>・覚えていない(3件)                  |       |       |       |       |      |
| お子さんの様子や育成歴などを聞く<br>対応には                     | 17  | 18    | 1     | 1     | 0     | 1    |
|  | 44.7%   | 47.4% | 2.6%  | 2.6%  | 0.0%  | 2.6% |
|  | その他：・聞かれたが、後で他の先生に伝わっていないことがあった<br>(「どちらかといえば不満」に ) |       |       |       |       |      |
| 園の目標や方針についての説明には                             | 7   | 15    | 8     | 3     | 4     | 1    |
|  | 18.4%   | 39.5% | 21.1% | 7.9%  | 10.5% | 2.6% |
|  | その他：・覚えていない<br>・気にしていなかったため、気づかなかった<br>・知らない        |       |       |       |       |      |
| 保育園での1日の過ごし方についての<br>説明には                    | 14  | 18    | 2     | 2     | 1     | 1    |
|  | 36.8%   | 47.4% | 5.3%  | 5.3%  | 2.6%  | 2.6% |
|  |   |       |       |       |       |      |
| 入園後に食い違いがなかったかなど<br>も含め、費用やきまりに関する説明<br>について | 13  | 15    | 2     | 6     | 0     | 2    |
|  | 34.2%   | 39.5% | 5.3%  | 15.8% | 0.0%  | 5.3% |
|  |   |       |       |       |       |      |

### 問3 保育園に関する年間の計画について

|                                    | 満足  | どちらかとい<br>えば満足 | どちらかとい<br>えば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|------------------------------------|---|----------------|----------------|------|------|------|
| 年間の保育や行事についての説明に<br>は              | 18  | 18             | 0              | 2    | 0    | 0    |
|                                    | 47.4%   | 47.4%          | 0.0%           | 5.3% | 0.0% | 0.0% |
|                                    |   |                |                |      |      |      |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望<br>が活かされているかについては | 11  | 21             | 3              | 1    | 2    | 0    |
|                                    | 28.9%   | 55.3%          | 7.9%           | 2.6% | 5.3% | 0.0% |
|                                    | その他：・もっと聞いてほしい(「不満」に )<br>・不満はないが要望は活かされているのかは分からない<br>・行事の後、アンケートはあるが、どのような意見があったのか分から<br>ないので活かされているのかも不明 |                |                |      |      |      |



#### 問4 日常の保育内容について

##### 「遊び」について

|  | 満足  | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|--|---|------------|------------|------|------|------|
| 園の遊びについては<br>(お子さんが満足しているかなど)                        | 23  | 14         | 0          | 0    | 1    | 0    |
|  | 60.5%   | 36.8%      | 0.0%       | 0.0% | 2.6% | 0.0% |
|  | その他:・園庭の使用が少ないと思う   |            |            |      |      |      |
| 園のおもちゃや教材については<br>(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 22  | 11         | 4          | 0    | 1    | 0    |
|  | 57.9%   | 28.9%      | 10.5%      | 0.0% | 2.6% | 0.0% |
|  | その他:・全部見たことがない  |            |            |      |      |      |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については                           | 25  | 12         | 1          | 0    | 0    | 0    |
|  | 65.8%   | 31.6%      | 2.6%       | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
|  |   |            |            |      |      |      |
| 遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては                       | 23  | 13         | 2          | 0    | 0    | 0    |
|  | 60.5%   | 34.2%      | 5.3%       | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
|  |   |            |            |      |      |      |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては                          | 17  | 17         | 2          | 0    | 2    | 0    |
|  | 44.7%   | 44.7%      | 5.3%       | 0.0% | 5.3% | 0.0% |
|  | その他:・分からない<br>・もう少し外遊びがあっても良いような気がする<br>・横のつながりがほしい(「どちらかといえば満足」に ) |            |            |      |      |      |

##### 「生活」について

|                      | 満足             | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|----------------------|----------------|------------|------------|------|------|------|
| 給食のメニューの充実については      | 25             | 11         | 1          | 0    | 1    | 0    |
|                      | 65.8%          | 28.9%      | 2.6%       | 0.0% | 2.6% | 0.0% |
|                      | その他:・量を多くしてほしい |            |            |      |      |      |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 26             | 12         | 0          | 0    | 0    | 0    |
|                      | 68.4%          | 31.6%      | 0.0%       | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
|                      |                |            |            |      |      |      |

|  |   |       |       |      |       |      |
|--|---|-------|-------|------|-------|------|
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては                 | 19                                      | 18    | 1     | 0    | 0     | 0    |
|  | 50.0%                                   | 47.4% | 2.6%  | 0.0% | 0.0%  | 0.0% |
|  |   |       |       |      |       |      |
| 家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては | 14                                      | 11    | 2     | 3    | 6     | 2    |
|  | 36.8%                                   | 28.9% | 5.3%  | 7.9% | 15.8% | 5.3% |
|  | その他：・おむつはずしの時期でない(3件)<br>・おむつはずれていた(2件) |       |       |      |       |      |
| お子さんの体調への気配りについては                                | 21                                      | 14    | 3     | 0    | 0     | 0    |
|  | 55.3%                                   | 36.8% | 7.9%  | 0.0% | 0.0%  | 0.0% |
|  |   |       |       |      |       |      |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には                    | 18                                      | 12    | 8     | 0    | 0     | 0    |
|  | 47.4%                                   | 31.6% | 21.1% | 0.0% | 0.0%  | 0.0% |
|  |   |       |       |      |       |      |

#### 問5 保育園の快適さや安全対策などについて

|                        | 満足                    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|------------------------|-----------------------|------------|------------|------|------|------|
| 園舎、園庭などの施設については        | 23                    | 11         | 3          | 0    | 1    | 0    |
|                        | 60.5%                 | 28.9%      | 7.9%       | 0.0% | 2.6% | 0.0% |
|                        |                       |            |            |      |      |      |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については | 20                    | 17         | 1          | 0    | 0    | 0    |
|                        | 52.6%                 | 44.7%      | 2.6%       | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
|                        |                       |            |            |      |      |      |
| 外部からの不審者侵入に対する備えについては  | 15                    | 18         | 3          | 1    | 1    | 0    |
|                        | 39.5%                 | 47.4%      | 7.9%       | 2.6% | 2.6% | 0.0% |
|                        | その他：・備えはあるが、充分活かしてほしい |            |            |      |      |      |
| 衛生管理や感染症対策については        | 17                    | 16         | 5          | 0    | 0    | 0    |
|                        | 44.7%                 | 42.1%      | 13.2%      | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
|                        |                       |            |            |      |      |      |

## 問6 園と保護者との連携・交流について

|   | 満足  | どちらかといえ<br>ば満足 | どちらかといえ<br>ば不満 | 不満    | その他  | 無回答  |
|---|---|----------------|----------------|-------|------|------|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については              | 13  | 14             | 7              | 1     | 1    | 2    |
|   | 34.2%   | 36.8%          | 18.4%          | 2.6%  | 2.6% | 5.3% |
|   | その他：・仕事で出席したことがない   |                |                |       |      |      |
| 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については         | 20  | 14             | 2              | 1     | 0    | 1    |
|   | 52.6%   | 36.8%          | 5.3%           | 2.6%  | 0.0% | 2.6% |
|   |   |                |                |       |      |      |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                     | 20  | 13             | 3              | 0     | 1    | 1    |
|   | 52.6%   | 34.2%          | 7.9%           | 0.0%  | 2.6% | 2.6% |
|   | その他：・土日の開催が多いが、土日が休みでないので大変   |                |                |       |      |      |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については                 | 17  | 11             | 5              | 4     | 0    | 1    |
|   | 44.7%   | 28.9%          | 13.2%          | 10.5% | 0.0% | 2.6% |
|   |   |                |                |       |      |      |
| お子さんのに関する重要な情報の連絡体制については                  | 13  | 17             | 6              | 1     | 0    | 1    |
|   | 34.2%   | 44.7%          | 15.8%          | 2.6%  | 0.0% | 2.6% |
|   | その他：・事が起きた時は、即個人的に連絡してほしい(「どちらかといえば不満」に )                           |                |                |       |      |      |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 16  | 17             | 3              | 0     | 1    | 1    |
|   | 42.1%   | 44.7%          | 7.9%           | 0.0%  | 2.6% | 2.6% |
|   | その他：・相談したことがない  |                |                |       |      |      |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 19  | 13             | 1              | 1     | 3    | 1    |
|   | 50.0%   | 34.2%          | 2.6%           | 2.6%  | 7.9% | 2.6% |
|   | その他：・今まで遅くなったことがない(2件)<br>・今までそういうことがなかったので、たぶんそういう時には柔軟に対応してくれると思う |                |                |       |      |      |

## 問7 職員の対応について

|                                 | 満足   | どちらかといえ<br>ば満足 | どちらかといえ<br>ば不満 | 不満   | その他   | 無回答  |
|---------------------------------|--|----------------|----------------|------|-------|------|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 23   | 12             | 1              | 1    | 0     | 1    |
|                                 | 60.5%  | 31.6%          | 2.6%           | 2.6% | 0.0%  | 2.6% |
|                                 |  |                |                |      |       |      |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては     | 25   | 10             | 2              | 0    | 0     | 1    |
|                                 | 65.8%  | 26.3%          | 5.3%           | 0.0% | 0.0%  | 2.6% |
|                                 |  |                |                |      |       |      |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 15   | 13             | 1              | 0    | 6     | 3    |
|                                 | 39.5%  | 34.2%          | 2.6%           | 0.0% | 15.8% | 7.9% |
|                                 | その他：・分からない(6件)   |                |                |      |       |      |
| 不満や要望を気軽に言えるかどうかについては           | 14   | 17             | 5              | 1    | 0     | 1    |
|                                 | 36.8%  | 44.7%          | 13.2%          | 2.6% | 0.0%  | 2.6% |
|                                 |  |                |                |      |       |      |
| 不満や要望への対応については                  | 12   | 15             | 3              | 1    | 6     | 1    |
|                                 | 31.6%  | 39.5%          | 7.9%           | 2.6% | 15.8% | 2.6% |
|                                 | その他：・不満や要望もない<br>・不満や要望を言ったことがない(2件)<br>・不満は言えない<br>・解決がはっきりするよう対応してほしい<br>・園の方針をしっかりと伝えてほしい |                |                |      |       |      |

## 問8 保育園の総合的評価

|        | 満足    | どちらかといえ<br>ば満足 | どちらかといえ<br>ば不満 | 不満   | 無回答  |
|--------|-------|----------------|----------------|------|------|
| 総合満足度は | 19    | 17             | 2              | 0    | 0    |
|        | 50.0% | 44.7%          | 5.3%           | 0.0% | 0.0% |

# 利用者本人調査取りまとめシート(くすのき保育園)

## 結果の特徴

調査対象：園児 106 人のうち、園側に予めリストアップしていただいた 10 名(園児の 9.4%)を調査対象とした。〔1 歳児 1 人、2 歳児 2 人、4 歳児 1 人、5 歳児 6 人〕

| 項 目      | 回答者年齢 | 人 数 | 内 訳           | 園全体の人数 |
|----------|-------|-----|---------------|--------|
| 保 育 観 察  | 0～2 歳 | 3 人 | 男児 1 人・女児 2 人 | 20 人   |
|          | 3～4 歳 | 1 人 | 男児 1 人        | 41 人   |
| 本人聴き取り調査 | 5～6 歳 | 6 人 | 男児 2 人・女児 4 人 | 45 人   |

### 【調 査 方 法】

#### 《保 育 観 察》

調査員 2 名が 1～4 歳の 4 名を保育の現場で、施設側から提供された利用者情報シートを参考に遊び・食事・排泄・午睡等の保育状況を観察した。

#### 《本人聴き取り調査》

5～6 歳の 6 名を対象に、食事・遊び・排泄等について聴き取り調査を行った。食事については給食を共にしながら、また遊びなどについても活動中の子どもたちの脇で聴き取りを行い、より自然な形での意見聴取に配慮した。

### 【保育観察の結果】

#### 《全体のコメント》

子ども達の表情は皆明るく、活発に保育園での生活を楽しんでいるように感じられた。

食事、着替え、遊び全般について子ども達は各々のペースで行動しており、保育士は大きな声を出すことなく穏やかに見守りながら子供達の自主性を尊重した対応をしていた。

保育園の周囲は自然環境に恵まれており、子ども達はその恩恵を全身に受けてのびのびと過ごしているように見受けられた。

< 遊び > 調査当日は好天に恵まれ、2 歳児は園の向かいにある「原っぱ」に出かけ、かくれんぼ・花摘み・虫探し・斜面滑りなどを楽しんでいた。園庭では 3 歳児が砂場や三輪車で遊び、4 歳児は遊具使ったり泥んこ遊びなどの自由遊び、5 歳児は屋上で駒回しや縄跳びを楽しんだ。1 歳児は 2 階ホールになっている一時保育室で滑り台・ジャングルジム・車・マットなどを使って思い思いに楽しんでいた。年齢に応じて子どもたちはそれぞれ積極的に遊びを楽しんでいたように見受けられた。

< 食事 > 低年齢児では好みや食べるペースにばらつきが見られたが、保育士は子どもの個々の特徴を踏

まえて無理強いすることなく穏やかに対応していた。3・4・5 歳児はホールに移動し、それぞれ当番の指示・かけ声に合わせて食事になった。食後には当番が食材の描いてあるチップを子ども達に提示しながら「びょうきからまもるもの」「からだをつくるもの」「ちからのもとなるもの」のどれに当てはまるかを聞いて、それぞれのポケットに入れていくという「なぞなぞ」で食育に繋げていた。栄養士が子ども達の給食の状況を知るため部屋を訪れてコミュニケーションを図っていた。

<排泄> 活動の前後に担任が声かけをし、促される子どももいたが皆トイレに行き排泄を済ませていた。オムツをしている子どもにはその都度様子を観察し、排泄した際は保育士が速やかに新しいものと取り替えていた。

<午睡> 着替えなど午睡の準備へは個人差がかなりあったが個々のペースで行い、担任保育士の絵本の読み聞かせや、お気に入りの絵本を抱えたりして落ち着いた雰囲気の中で入眠し、全員がぐっすり眠っていた。

#### 〔本人聴き取り調査の結果〕

##### 《全体のコメント》

聞き取りは一緒に食事をしながら行ったが、はっきりと元気良く答えてくれた。

全ての子どもが「保育園の遊びが楽しい」「食事の時間は楽しみ」「先生はやさしい」と答えている。食事は偏食もみられず回答した全員が残さずに食べて、おかわりをする子どもが多く見られた。

##### 〔質問項目別の特徴〕

<遊び> 回答した子ども全員が「園での遊びは楽しい」と答え、全員が「好きな遊び」については、縄跳び・戦いごっこ・青空公園・フラフープ・パズル・おままごと・お人形・ブロックなど様々なプログラムを挙げて（即答して）いた。回答者のほとんどが、屋外での遊びを挙げていた。

<食事> 回答したすべての子どもが「食事の時間が楽しみ」と答えている。おしゃべりを楽しみながらそれぞれのペースで食べ、おかわりをする姿も多く見受けられた。

<排泄> 回答した子どもすべてが「トイレは行きたい時に行ける」と答え、複数の子どもが「先生に言うてから行く」と答えている。排泄に関して自立している子どもが殆どで保育士に手伝ってもらう子どもは1名だった。（他の子どもについては、自分とは結びつかない質問と受け捉えたようで、無回答・非該当扱いとした。）

<清潔・着替え> 身体の清潔に関しては、「自分でできる」「自分で拭く」など、回答した子ども達は自立している内容の答えがほとんどであった。具合が悪い時や怪我をした時には「先生がやさしくしてくれる。面倒みてくれる」と概ねの子どもが回答している。

< 権利 > 友だちとけんかをした際の保育士の対応については、概ねの子どもは「話を聞いてくれる」と答えている。中には「おこられて、相手の友だちに「ゴメンネ」と言って仲直りする」など、保育士が状況を聴いた上で相手との関わりを学ばせるような言葉がけや働きかけを行っている様子が見えてきた。子どもへの呼び方（名前）に関して、女子には「      ちゃん」男子には「      くん」と呼んでいる。

< 職員対応 > 回答した子どもすべてが「先生はやさしい」と答えている。担任以外の先生も「やさしい。困った時は世話をしてくれる」と回答している。園長先生については「こわそうだけどマジックが上手、面白い」や「クマみたいな先生でしょ？朝、ひものコマで遊んでくれる」と自慢げに説明してくれる子どももいた。



## 事業者からの意見(コメント)

今回、第三者評価を受けるにあたり 初めて、職員全体で園のサービスのあり方や地域支援のあり方、人材育成等について、見直し 話し合う機会を持つことが出来ました。 自己評価を行いながら、自分たちの園で足りない部分や改めるべき部分が見えてきたり、もっと保育の質を向上していくべき必要性を感じたり、さらに、そのためには、保育士自身の質の向上を目指す必要があることなど、痛感させられたりしました。 研修のあり方一つを見ても研修計画を立て、目標を持ち、各自研修に臨み、さらに その研修で得た成果の評価まで行っていかなければ本当の研修の意味を持たない等、私たちが日常行っている事にあと一步の踏み込みの甘さを知らされました。 また、業務改善提案書の作成や当園の現状 環境に応じた各種マニュアルの再検討など、今後の課題も明らかになり、さらなる質の向上への道が見えてきた様な気がします。 しかし、この評価を受けて、何よりも当園にとってプラスになったことは、職員全体が一つの方角に向かい話し合いの機会を持つことができたことだと思います。評価結果は思ったよりも高い評価を頂き、驚いています。 しかし、この評価に満足することなく今後、さらに保護者の皆様からの声や要望を謙虚に受け止め、より質の高いサービスを提供できる様に職員全体がサービス業である事の認識を深め、力を合わせ努力していこうと思っています。